

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日 2025年3月27日				
放課後等デイサービス宙・のぞみ						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・整理整頓を心掛け、スペースを作るようにしている。	・利用人数によっては、狭く感じることがある ・運動できるスペースが少ない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・小集団活動を取り入れて、職員配置を工夫している。	・送迎中は事業所に残る職員が少なくなってしまう。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・衝立などを使用し、構造化を行なっている。	・構造化された環境にはなっているが、使用年数が経ち、補修が必要に感じる部分が出てきた(衝立)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日、清掃をしている。 ・本棚やロッカーの整理等を行なっている。	・エアコンや普段掃除をしない所も定期的に行っていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・クールダウンや体調に合わせた場所を考慮している。 ・利用児の状況に合わせて、部屋を区切り、必要に応じて一人になれる環境を作っている。	・少し暗い空間の部屋を用意したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・職員への周知を行っている。	・広く職員が参画はできていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・評価表の内容を職員間で把握し業務改善につなげている ・評価表を回収後、職員間で意見を出し合い、改善案を検討している。	・ご意見に関して、職員間で話し合い、今後も改善につなげられるよう努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・毎日、ミーティングを実施して、情報共有を行ない、職員の意見の把握が行われている。	・今後も話し合う機会があればいいと思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・外部からの評価を受けているか、分からない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・研修に参加する機会が増えた。	・確保されているが研修を受講する機会がもう少し増えてもいいと思う。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・法人ホームページにて公表している。	・今後、内容の見直し、改善を行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントは適切に行われている。 ・アセスメントを行なったうえで計画が作成されていると思う。	・作成しているが計画内容の質を高めていけるようにしたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・職員全員で情報共有し、共通理解の下で適切に検討行なっている。 ・児童発達支援管理責任者と一緒に現場の職員も話し合っ検討している。	・相談支援員とも情報共有し、検討を行って行きたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・計画できた際には、その都度職員で確認して改善点があった際には伝えている。	・アフターミーティングの際に支援内容の確認を行う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・日々の様子や行動はソフトを使用して記録している。 ・観察記録シートにて記録している。	・記録内容をもっと細かく、分かりやすく記入していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・放課後等デイサービスガイドラインのねらいや支援内容を踏まえながら設定している	・より具体的な計画内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・個別の活動は担当職員が主となり、活動を設定しているが、小集団活動は職員間で検討して行なっている。 ・職員同士で話し合い、毎日のスケジュールを決めている。	・様々な活動内容を検討していく。

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・職員間で意見を出し合い、固定化しないようにしている	・スペースや利用児の状況によって難しい場合もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・児童の特性に合わせて、個別活動や集団活動等一日のスケジュールで支援を行なっている。 ・定期的に行事を企画し、小集団で取り組む	・行事内容を見直し、児童が楽しく活動できる支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・支援開始前にその日の担当、送迎、支援内容を確認している。 ・集団活動がある場合など、時間、担当などの役割を確認し、連携して行っている。 ・朝礼でその日の全体的なスケジュールを話し合っている。	・支援中も職員間で声を掛け合いながら、連携をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・毎日、アフターミーティングを行い、その日に気付いた点を共有している。 ・支援終了後に振り返りを行い、話し合っている。	・情報を共有するだけでなく、内容を記録し、今後の支援に役立てるようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・毎日その日の出来事、気になったこと、保護者との情報共有の内容などを記録に残している。 ・記録に残し、共有して、検討、改善に繋げている。	・その日の出来事は、その日のうちに入力できるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・6か月以内にモニタリングを行い、計画の見直しを行なっている。	・児童の成長の変化や保護者のご意見を踏まえたモニタリングを作成できるようにしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	・複数組み合わせ支援を行うよう心掛けている。	・4つの基本活動を組み合わせるようにしているが、難しい場合もある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・絵カードや実物などを用いながら自己選択できるような環境を整え支援を行っている。 ・カードやホワイトボードを使って、選択しやすいような視覚提示を取り入れながら行っている。	・自由に選択できる場面を増やしていきたいと思う。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・主に児童発達支援管理責任者が参画している。	・参加できるのであれば、児童発達支援管理責任者と他の職員が参加しても良いと思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・関係機関と連携して支援を行う体制を整えながら対応している。	・今まで関わっていない機関とも連携を考えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・必要に応じて学校との情報共有や連絡調整を行っている。 ・送迎に行った職員が学校から申し送りの情報は、適切に伝えて共有している。	・定期的に児童の様子を伝え合う機会を設けていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・フェイスシートや状況報告書などを通して情報を共有している。 ・聞き取りや書面での情報共有と相互理解に努めている。	・保育所や幼稚園、認定こども園とのつながりが少ないので、関わりを増やしたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・進学の際には、情報提供をし、共有している。	・まだ対象の児童がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	・法人内の児童発達支援センターとの連携が取れている。 ・常に連携を取った体制である。	・見学や研修の機会を増やしたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・法人内の放デイとの合同行事を行って、交流を図っている。	・活動する機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	・児童発達支援センターが代表で参加している。	・事業所単位では参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・お迎え時や連絡帳などで情報共有は密に行っている。 ・日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、共通理解ができるようにしている。	・より詳細な情報を伝えられるようにしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・ペアレントトレーニング等の実施は行っていないが、個別の面談などに対応している。	・ペアレントトレーニングなどの実施はできていない ・保護者からの要望が多い為、検討していくべきであると感じる。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・入所の手続きの際に説明している。 ・契約時、変更が生じた時に随時説明を行っている。	・質問などに対して、的確にお答えできるようにする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・児童や家族の意向を確認しながら作成している。 ・面談をする機会を設けている。	・今後も児童や保護者の意向を確認しながら関わっていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・説明を行い、保護者から同意を得て、支援している。	・今後も詳細かつ丁寧な説明を行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・必要に応じて面談を行っている。	・相談内容に応じて、柔軟に対応していきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	・高学年の保護者向けに今後の進路などを話し合える場を「茶話会」として企画している。	・保護者やきょうだい同士で交流する機会は設けることができていなかった。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・迅速かつ適切に対応することを心掛けている。	・体制をもう一度確認し、迅速に対応できるようにする。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・「さくら連絡網」を使つての連絡体制は整えている。	・HPやSNSで活動内容や行事での様子を詳しく発信できていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・十分留意している。	・個人情報の取り扱いについては、職員間で共有し、今後も留意していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・配慮しながら対応している。	・分かりやすい言葉や話すスピードなどにも留意しながら伝えていく。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	・今後、交流できる機会を検討していく。	・地域住民との関わりはあまりない。 ・今後、関われる機会を検討していく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・避難訓練を月1回行っている。 ・児童とも避難経路などを確認し、職員同士でも情報共有し、対応できるような体制を取っている。	・マニュアルを職員間で再確認し、訓練を実施する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・災害に備えた備品の準備やマニュアルなどを作成している。 ・非常災害の発生時における職員の出勤方法や事業所内にある災害用備品等の確認をしている。	・BCPの内容について職員間で話し合う時間を設ける。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・入所時に保護者から情報を得ている。 ・フェイスシートや保護者からの聞き取りで確認している。 ・休日などにてんかん発作が起きた場合でも連絡帳に記載して頂き、状況を記録している。	・てんかん発作が起きた場合の対応をもう一度再確認した方が良い。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・事前にアレルギーの有無について確認を行っている。	・食物アレルギーを持つ児童がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全計画を作成し、内容を確認しながら支援を行っている。	・安全計画に入れた方が箇所や事項がないかを検討する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・周知し、連携を取れるようにしている。	・お便りやさくら連絡網を使用し、周知を徹底していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット報告書をもとに再発防止を検討している。 ・小さな問題点も見逃さず、職員間で共有し、対策、検討を行っている。 ・その都度、書類を作成し、ミーティングで職員同士で話し合い、再発防止に努めている。	・ヒヤリハットが起きないように安全確認を定期的に行っていく必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・研修を行っている。 ・虐待防止研修を行い、理解を深め、適切な対応ができるようにしている。	・研修だけでなく、職員間で検討することも必要だと思う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・支援計画書に記載し、説明をしている。	・実際に身体拘束を行なった際には、十分に説明を行う。